品 番

PVN-B型

家庭用

VE電気まほうびん とく子さん®

取扱説明書

保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

ご意見をお寄せください。
http://www.tiger.jp/

もくじ

点検・修理などを依頼されるときなどに記入しておくと便利です。

ご購入年月日 年 月 日
ご購入店名 TEL ( )

日本国内 100V 専用
交流 100V 以外の電源では使用できません。

1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

※ここに表した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分して説明しています。

⚠警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定される内容を示します。
⚠注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定される内容を示します。

*1 重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。
*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

注意

△記号は、警告、注意を示します。具体的な注意内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

禁止

⊘記号は、禁止の行為であることを示します。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

指示

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を示します。具体的な指示内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

乳幼児のいらっしゃるご家庭でご使用の場合は特にご注意ください。

⚠警告

禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない。
やけど・感電・けがをするおそれ。

接触禁止

蒸気孔にさわったり、顔などを近づけない。
やけどをするおそれ。特に乳幼児には、さわらせないように注意する。

禁止

器具用プラグをなめさせない。
乳幼児が誤ってなめないように注意する。
感電やけがの原因。

必ず実施

ふたを「カチッ」と音がするまで確実に閉める。
沸とうが止まらなくなったり、倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。

⚠注意

禁止

不安定な場所、熱に弱いテーブルや敷物などの上では使わない。
倒れたときに、お湯が流れ出て、やけどのおそれ。また、火災や、テーブル・敷物の変色・変形の原因。

⚠警告

分解禁止

改造はしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。
火災・感電・けがの原因。

禁止

交流100V以外では使わない。（日本国内100V専用）
火災・感電の原因。

⚠警告

必ず実施

定格15A以上のコンセントを単独で使う。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。

禁止

電源コードは、破損したまま使わない。また、電源コードを傷つけない。
（加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど）
火災・感電の原因。

必ず実施

差込プラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
火災の原因。

必ず実施

差込プラグは根元まで確実に差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

禁止

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。
感電・ショート・発火の原因。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、差込プラグの抜き差しをしない。
感電やけがをするおそれ。

禁止

器具用プラグ（磁石式）の先端にピンなど金属片やごみを付着させない。
感電・ショート・発火の原因。

禁止

満水目盛を超えて、水を入れない。
お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。
また、水が給水マークより少ない場合は、内容器の変色・故障のおそれ。

禁止

ふたを勢いよく閉めない。
お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。

禁止

蒸気孔をフキンなどでふさがない。
お湯がふきこぼれて、やけどのおそれ。
また、ふたの変形の原因。

禁止

水以外のものをわかさない。
お茶・牛乳・酒・ティーバッグやお茶の葉、インスタント食品などを入れて使うと、泡立ってふきこぼれ、やけどのおそれ。また、こげつき・腐食・故障・フッ素加工のはがれの原因。

禁止

氷を入れて保冷用に使わない。
冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障のおそれ。

禁止

抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上下に勢いよく振ったり、衝撃を加えない。ふたを持って移動しない。
「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

禁止

ポットを転倒させない。
「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。
お湯が流れ出て、やけどのおそれ。

水ぬれ禁止

本体は、水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電・発火のおそれ。

禁止

ふたをつけたまま、残り湯をすてない。
ふたがはずれたとき、お湯がかかってやけどをするおそれ。
（残り湯のすてかたは、P.4・10参照）

必ず実施

ふたパッキンが白く変色したら交換する。
倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。

必ず実施

異常・故障時には、直ちに使用を中止する。
そのまま使用すると、火災・感電・けがのおそれ。
〈異常・故障例〉
・電源コードやプラグが異常に熱くなる。
・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
・いつもと違って異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする。
・本体から水もれする。
・その他の異常や故障がある。
すぐにプラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する。

1 安全上のご注意

⚠注意

プラグを抜く

使用時以外は差込プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

必ず実施

必ず差込プラグを持って引き抜く。
感電や、ショートして発火するおそれ。

禁止

この製品専用の電源コード以外は使用しない。電源コードを他の機器に転用しない。
故障・発火のおそれ。

禁止

タコ足配線はしない。
火災のおそれ。

禁止

水のかかりやすい場所や、底部がぬれるような所に置いて使わない。
ショート・感電・故障の原因。

禁止

蛇口から直接水を入れない。
本体内部に水が入り、ショート・感電・故障の原因。

禁止

壁や家具の近くでは使わない。
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因。
キッチン用収納棚などを使うときは、中に蒸気がこもらないように注意する。

接触禁止

ふたを開けたりはずすときに出る蒸気や露にふれない。
やけどの原因。

禁止

湯わかし中は、お湯を注がない。
お湯が飛び散り、やけどの原因。

禁止

給湯中に本体を回さない。
お湯が飛び散り、やけどのおそれ。

接触禁止

使用中や使用後しばらくは高温部にふれない。
やけどの原因。

禁止

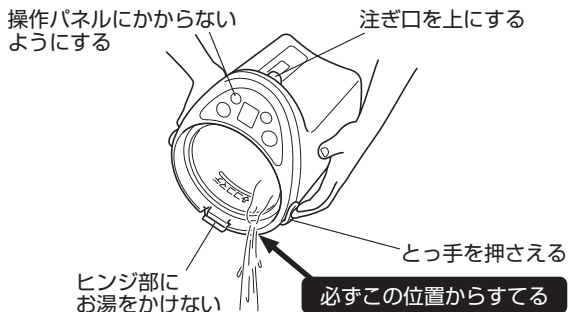
本体を持ち運ぶときは、ふたの開閉レバーにふれない。
ふたが開いて、けが・やけどをするおそれ。

必ず実施

お手入れは冷えてから行う。
高温部にふれ、やけどのおそれ。

必ず実施

残り湯をすてるときは、必ず下図の方向からすてる。
別の位置からすてると、本体内部にお湯が入って故障の原因。またやけどのおそれ。

禁止

本体を丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしない。
ショート・感電・故障の原因。

禁止

本体をさかさにして置かない。
底部が水にぬれていると、底部から水が本体内に入り故障の原因。

末永くご使用いただくためのご注意

●**火気の近くでは使わない。**
変形・故障の原因。

●**直射日光が長時間あたる場所では使わない。**
本体が熱くなるなど、故障の原因。

●**カラだきをしない。**
水を入れないで通電すると、内容器の熱変色、故障の原因。

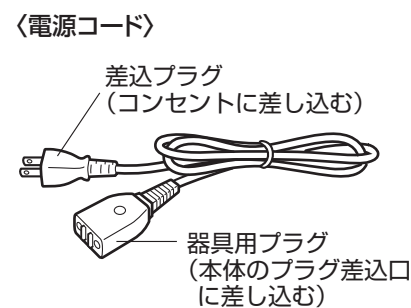
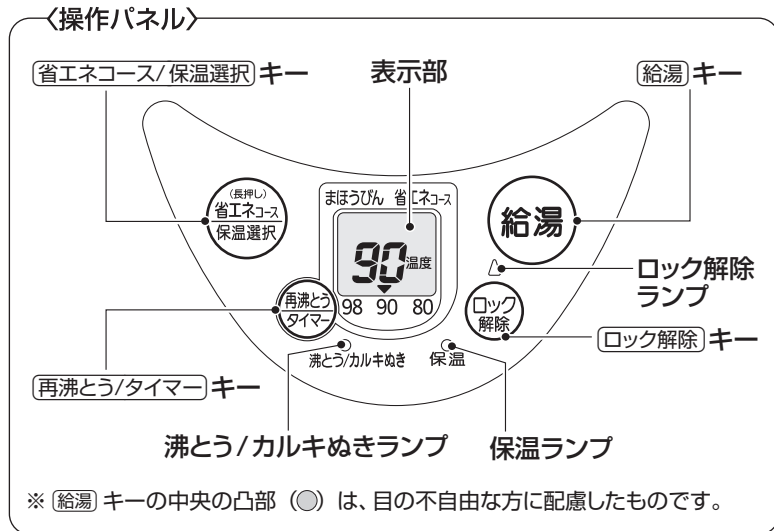
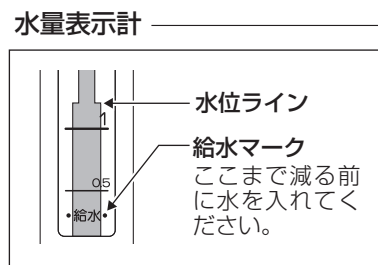
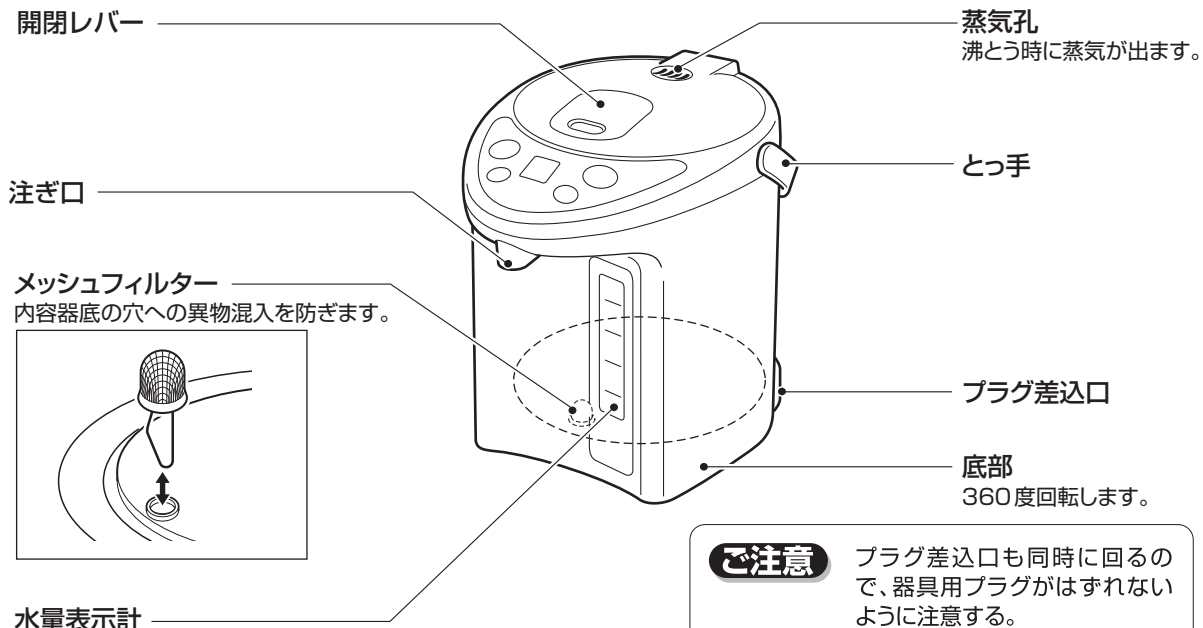
●**備長炭などの炭を入れて使わない。**
故障、フッ素加工のはがれの原因。

2 各部のなまえとはたらき

ご注意 プラグ差込口も同時に回るので、器具用プラグがはずれないように注意する。

〈操作パネル〉

※ 給湯 キーの中央の凸部（◎）は、目の不自由な方に配慮したものです。

〈電源コード〉

音について

湯わかし中の「ゴー」という音は、内容器内で発生する泡がはじける音で、故障や異常ではありません。

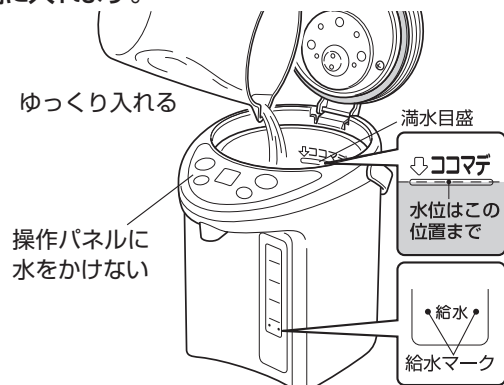
3 お湯のわかしかた

はじめてお使いになるときやしばらく保管されていたときは、一度手順通りにお湯をわかしてください。
その後、給湯して残り湯をすててからお使いください。
使いはじめのうちは、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

1 ふたを開ける

音 ふたを開閉するとき「カラ、カラ」と音がしますが、お湯の流出を防止する弁（せんバルブ）の音で異常ではありません。

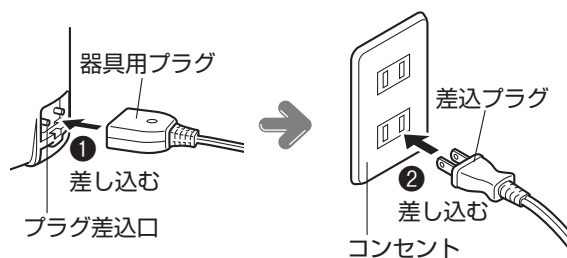
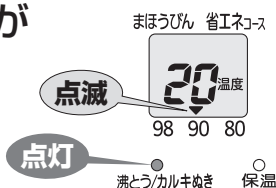
2 水を別の容器で入れる

水は、「給水マーク」以上から「満水目盛」までの間に入れます。

ご注意
- 蛇口から直接水を入れない。
  あふれるとショートや感電の原因。
- 約50℃以上のお湯を入れると、自動的に湯わかしされない場合があるため、少しさめたお湯か水を入れるか、再沸とうさせる。（P.8参照）
- 「満水目盛」を超えて水を入れない。
  お湯がふきこぼれて、やけどをするおそれ。
- 「給水マーク」より少ない水量で湯わかしをしない。
  カラだきによる内容器の変色、故障のおそれ。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水を入れたときは、こまめにお手入れする。（P.11参照）

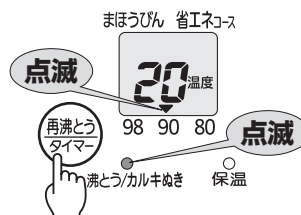
3 ふたを閉める

ご注意 ふたが確実に閉まっていないと、沸とうが止まらなくなったり、倒れたときにお湯が多量に出て、やけどをするおそれ。

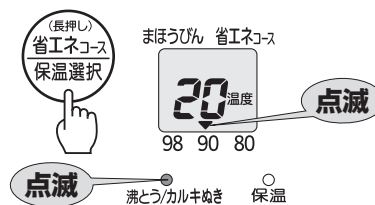
4 電源コードを接続する

5 湯わかしがはじまる

※保温温度を選ぶときは、P.7の6参照。
（選ばない場合は、自動的に90保温になります。）
※節電タイマーを設定するときは、P.10参照。

■お湯のカルキ臭を減らしたいとき

再沸とう/タイマー キーを1回押す。
※通常よりも湯わかし時間が長くなります。

お知らせ 内容器に水が入っていない状態や、ごく少量の水でお湯をわかすと、ランプが交互に点滅してお知らせし、ヒーターへの通電がとまります。（P.14参照）

6 保温を選ぶ

省エネコース/保温選択 キーを押して選ぶ。
押すごとに、保温が順に切り替わります。

- 4種類の保温が選べます。
  （80・90・98保温の3通りとまほうびん保温）

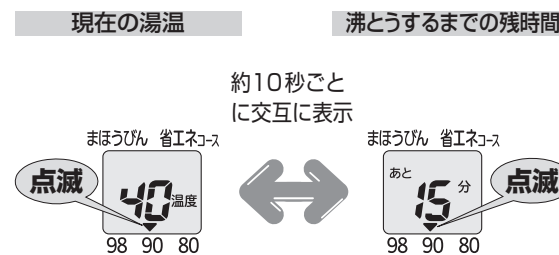
- まほうびん保温は、沸とう後、ヒーターが自動的にOFFになります。
- 湯わかし中でも保温中でも、保温が変更できます。

ご注意
- 設定中にプラグがはずれた場合、再度プラグを接続すると90保温になります。
- キーを長く押さない。省エネコースがセットされます。（P.9参照）

■湯わかし中…

現在の湯温　　沸とうするまでの残時間

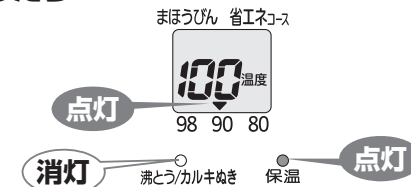
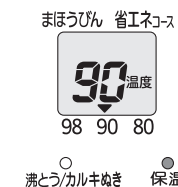
約10秒ごとに交互に表示

まほうびん 省エネコース
あと 15 分
点滅
98 90 80

※水量や水温によって残時間が表示されはじめる時間が異なります。
※お湯の温度は、5℃きざみに表示されます。
（約98℃のときは、「98」を表示します。）

7 自動的に保温する

■沸とうしたら…

■選択した保温温度になると…

まほうびん 省エネコース
90 温度
98 90 80
沸とう/カルキぬき 保温

ご注意
- 蒸気にふれない。
  やけどをするおそれ。
- 湯わかし中や直後は、ふたを勢いよく開閉したり、給湯しない。
  お湯が飛び散ったり、蒸気がふき出して、やけどをするおそれ。

沸とう時間と選択した保温温度になるまでの時間の目安

		2.2タイプ	3.0タイプ
水から沸とうするまで		約24分	約30分
沸とうしてから	90保温になるまで	約2時間15分	約2時間40分
	80保温になるまで	約4時間	約4時間50分

※水量:満水、水温・室温:23℃、電圧:交流100Vのとき。
※98保温になるまでの時間の目安は、水から沸とうするまでの時間とほぼ同じです。

沸とう後の湯温の目安（まほうびん保温時）

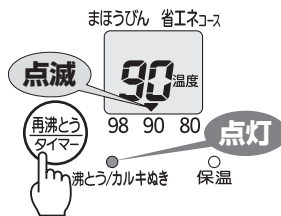
時間の経過とともに湯温が下がっていきます。湯量が少ないと、さめやすくなります。

	2時間後
2.2タイプ	約85℃以上
3.0タイプ	約88℃以上

※水量：満水、室温：23℃のときの参考値。
※温度は5℃きざみで表示していますので、表示の温度と湯温は異なる場合があります。

3 お湯のわかしかた

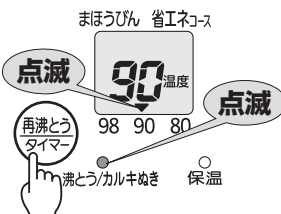
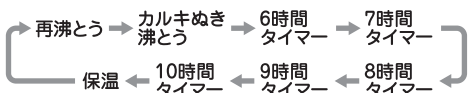
保温中に再沸とうさせるときは、［再沸とう/タイマー］キーを1回押す

給水マーク以上のお湯が入っているか、確認してから押す。

満水時に再沸とうするまでの時間の目安

	2.2タイプ	3.0タイプ
98・90保温	約4～8分	約4～9分
80保温	約8～10分	約9～11分

※水をつぎ足したり、プラグを接続し直したときは、さらに長くなります。
※まほうびん保温のときは、沸とうするまでの時間が変わります。

■保温中にお湯のカルキ臭を減らしたいとき

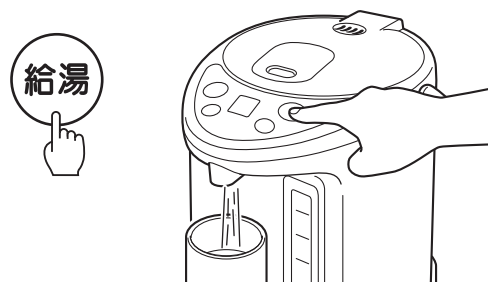
［再沸とう/タイマー］キーを2回押す。

［再沸とう/タイマー］キーを押すごとに機能が切り替わります。

※［再沸とう/タイマー］キーは、節電タイマーと兼用のキーになっているので、表示部で確認して設定する。

4 お湯の注ぎかた

1 ［ロック解除］キーを1回押す

2 ［給湯］キーを押す

お湯を入れる容器を注ぎ口に合わせて［給湯］キーを押します。
押している間、注ぎ口からお湯が出ます。

※お湯が止まるのを確認してから、容器を注ぎ口から離してください。
※プラグをはずすと、給湯できません。
※沸とう直後は、発生した泡がポンプに入ってお湯が出にくくなることがあります。
蒸気に注意して、1度ふたを開け、再度ふたを閉めてから給湯する。
※内容器やメッシュフィルター、本体内部のポンプが汚れていると、お湯が出にくくなることがあります。（クエン酸洗浄する。→P.12参照）
※給湯後、約20秒間［給湯］キーを押さなかった場合、ロック解除ランプが消灯して自動的にロックされます。

ご注意
●湯量が「給水マーク」より少ないときは、給湯しない。お湯が飛び散るおそれ。
●本体がまわらないよう注意して給湯する。お湯がこぼれて、やけどをするおそれ。

3 ［ロック解除］キーを1回押す

［給湯］キーがロックされ、押しても給湯ができません。

■お湯が少なくなったら必ず給水する

「給水マーク」まで減る前に、必ず給水し、ふたを閉める。（蒸気に注意して、水を入れる。→P.6参照）

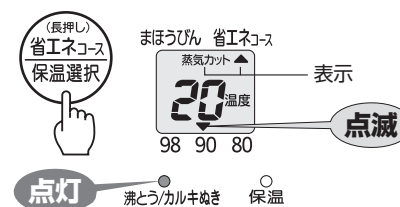
ご注意
●水を入れずにそのまま放置しない。カラだきとなり、故障の原因。
●まほうびん保温中（プラグ接続状態）は、給水しても湯わかししません。

5 省エネコースの使いかた

省エネコースを選ぶと、省エネ湯わかしと省エネ保温を行います。

●省エネ湯わかしは、沸とうする前にヒーターを切り、蒸気の量をおさえる蒸気カットを行います。
湯わかし終了時の湯温は約98℃です。（室温・水量・気圧により蒸気カットにならない場合があります。）
●省エネ保温は、2時間以上キー操作しなかったときに、設定温度より約5℃下げて保温します。
（98保温のときの省エネ保温は、95保温になります。）

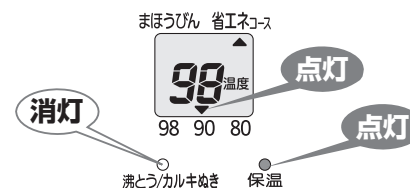
1 省エネコースを選ぶ

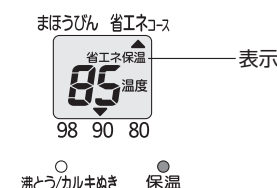
［省エネコース/保温選択］キーを長押し（約1秒）して、省エネコースを選ぶ

■省エネコースで蒸気カットさせないとき（沸とうさせる）

「カルキぬき」で湯わかしする（P.6参照）

2 保温を選ぶ（P.7参照）

3 湯わかし後、自動的に保温

■湯わかしが終了したら…

■選択した保温温度になると…

■2時間以上使わないときは自動的に省エネ保温（設定時間より5℃下げて保温）

※まほうびん保温のときはヒーターがONにならないので、お湯は冷めていきます。

省エネ保温中の湯温をもとの設定に戻すときは

［省エネコース/保温選択］キーまたは［ロック解除］キーを1度押す。（約1分で、もとの設定温度に戻ります。）

省エネコースを解除するときは

［省エネコース/保温選択］キーを長押し（約1秒）する。（湯温が低いときは、自動的に湯わかしを始めます。）

省エネ保温中にキー操作をすると発生する「ゴー」という音は、湯温を設定温度に戻すために、自動的に湯わかしをする音です。（P.13参照）

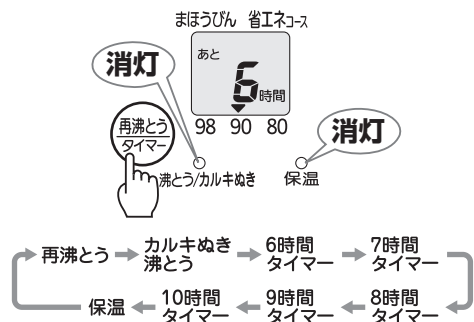
ご注意
省エネ湯わかしのときでも蒸気孔は高温になるため、さわったり、顔などを近づけない。

6 節電タイマーの使いかた

節電タイマーは、約6時間後から約10時間後まで1時間きざみで5段階に設定できます。
外出するときやお休みする前に節電タイマーをセットすると、ヒーターが自動的にOFFになり、まほうびんで保温しますので電気代が節約できます。
セットしてから設定時間後には、お湯がわいて通常通り使用できます。

[再沸とう/タイマー] キーを押し、節電する時間を選ぶ

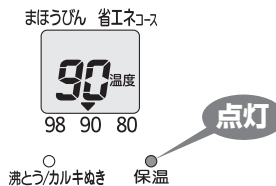
表示部で確認しながら、合わせる。

再沸とう → カルキぬき沸とう → 6時間タイマー → 7時間タイマー → 8時間タイマー → 9時間タイマー → 10時間タイマー → 保温 → 再沸とう

※節電タイマーが終了するまでの残時間を、1時間きざみで表示します。

■ 設定時間の1時間前になると…

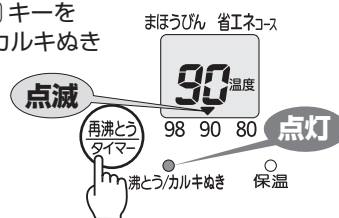
湯わかしがはじまり、59～1分まで分きざみで表示します。

■ 湯わかしが終了すると…

設定されている保温で保温します。

ご注意
- ●節電タイマーをセットすると給湯できません。
- ●まほうびん保温設定時はセットしない。ヒーターがONにならないので、お湯は冷めていきます。

節電タイマーを解除して、湯わかしをするときは…

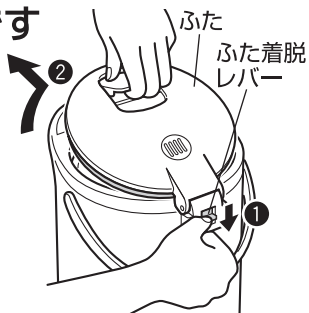
[再沸とう/タイマー] キーを押し、沸とう/カルキぬきランプを点灯させる。湯わかしがはじまります。

まほうびん 省エネコース
点滅
90温度
再沸とう タイマー
98 90 80
点灯
沸とう/カルキぬき 保温

7 使い終わったら

1 プラグをはずす

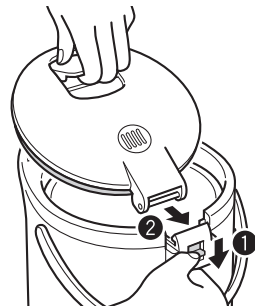
すべてのランプが消灯します。

2 ふたをはずす

ふた着脱レバーを押し下げながら、ふたを注ぎ口側に引くように開けてはずします。

3 残り湯をすてる（P.4参照）

ご注意
- ●お湯が飛び散らないように、ゆっくりとすてる。また、できるだけお湯をすてる場所にポットを近づけてすてる。
- ●お湯をすてた後は、注ぎ口からしずくが落ちることがあるので注意する。
- ●使用後は、内容器・メッシュフィルターをこまめにお手入れする。（P.11参照）

4 ふたを取りつける

ふた着脱レバーを押し下げながら、ふたの引っかけ部を差し込みます。

ご注意
- ●残り湯は放置しない。内容器の変色やにおいの原因。
- ●ふたをつけたままや注ぎ口を下にしたり、ヒンジ部からお湯をすてない。お湯が手にかかってやけどしたり、故障の原因。
- ●メッシュフィルターの取りつけかたが不充分な場合、残り湯をすてたときに抜け落ちることがあるので注意する。

8 お手入れのしかた

◆プラグをはずし、残り湯をすてて、冷えてからお手入れする。
◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。

各　部	お手入れのしかた
内容器	❶メッシュフィルターをはずしてから、スポンジで洗う。 **ご注意** ●クレンザーやたわし類を使わない。フッ素加工面が傷み、汚れが落ちにくくなる原因。 ●フッ素加工をしていても長期間お手入れしないと、汚れがこびりついて落ちにくくなったり、湯わかし中の音が大きくなったりするので、こまめにお手入れする。 ●カラだきによる変色はとれません。 ●ミネラルウォーターやアルカリイオン水を湯わかしした場合は、内容器にカルシウム分が付着しやすくなったり、また付着したカルシウム分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐ場合があり、故障の原因にもなるのでよりこまめにお手入れする。 ❷スポンジで洗っても落ちにくい汚れは、クエン酸（別売）で洗浄（2～3ヶ月に1回）する。（P.12参照） **■ 内容器の色むらや変色、水中の白い浮遊物について** 内容器にできるサビのような赤いはん点、乳白色・黒色・虹色などの変色、白い浮遊物は、水に含まれるミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）の作用によるものです。内容器自体の変色や腐食、フッ素樹脂のはがれではありません。衛生上問題はありませんが、汚れが目立ってきたら、こまめにお手入れしてください。
ふた 本体外側	かたくしぼった布で汚れをふき取る。
電源コード	乾いた布でふく。
メッシュフィルター	内容器からはずし、やわらかい歯ブラシなどで洗う。 **ご注意** ●こまめに洗う。目づまりすると、お湯が出にくくなる原因。 ●洗った後は、必ず内容器に確実に取りつける。

ご注意
- ●本体は、水につけたり、水をかけたりしない。ショート・感電のおそれ。
- ●丸洗いは絶対にしない。本体内部に水が入り、故障の原因。
- ●洗剤・シンナー類・クレンザー・漂白剤・金属たわし・ナイロンたわし・化学ぞうきんなどは使わない。
- ●食器洗浄機や食器乾燥器などは使わない。変形するおそれ。

8 お手入れのしかた

クエン酸洗浄のしかた

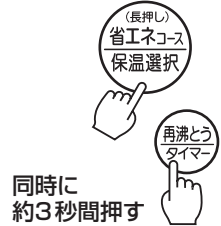
内容器のクエン酸洗浄をするときは、下記の内容を必ず守る。泡立ってお湯がふきこぼれたり、やけどのおそれ。
- お湯は入れない。必ず水から洗浄を行う。
- 「満水目盛」以上の水を入れない。
- 洗浄中は、ふたを開けない。
- 洗浄中は、沸とうするので蒸気に注意する。

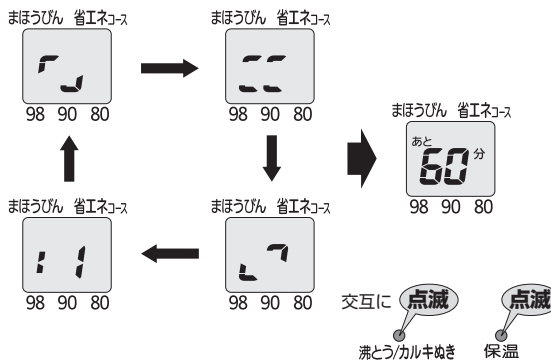
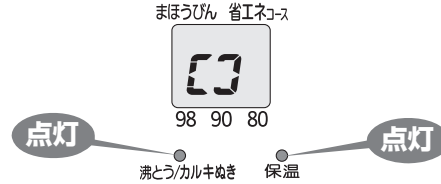
※クエン酸での洗浄中は、他の操作や機能は使えません。

クエン酸は、お求めのタイガー製品販売店または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、消耗品・別売品のご購入専用ホームページ（P.15参照）で、品番：PKS-0120「電気ポット内容器洗浄用クエン酸（約30g×4包入り）」とご指定のうえ、お買い求めください。
※クエン酸は食品添加物として使用されており、食品衛生上無害です。

■内容器のクエン酸洗浄（2～3カ月に1回の目安で行う）

❶内容器にメッシュフィルターがセットされていることを確認する。
❷クエン酸 約30g（大さじ2～3杯）を内容器に入れる。
❸「満水目盛」まで水を入れて混ぜ合わせ、ふたを閉める。（P.6参照）
❹プラグを差し込み、省エネコース/保温選択 キーと 再沸とう/タイマー キーを同時に約3秒間押し続ける。

同時に約3秒間押す

洗浄が開始されます。洗浄中は沸とう/カルキぬきランプと保温ランプが交互に点滅、表示部が下図のように移動して知らせます。その後洗浄の残時間の表示に切り替わります。

〈洗浄時間は約1時間30分*〉　＊水温により異なる。

❺洗浄が終わると、沸とう/カルキぬきランプと保温ランプが点灯します。表示部は下図のようになります。

❻プラグをはずしてお湯をすてる。
汚れが残っている場合はスポンジでこすり落とし、水で充分すすぐ。
※汚れが落ちにくい場合は、水ですすいだ後、再度クエン酸と水を入れて同じ操作を行ってください。
❼クエン酸の残り水を取るため、水だけで通常通りにわかし、約半量を電動給湯してから、残りのお湯をすてる。

クエン酸洗浄を途中で解除するときは、プラグをはずす。通常どおりお湯をわかすときは、必ずお湯（クエン酸の液）をすててから使う。

■内部のポンプのクエン酸洗浄（半年に1回の目安で行う）

内部のポンプにミネラル成分が固まって、お湯が出ないときは、下記の手順で、内部のポンプをクエン酸洗浄してください。

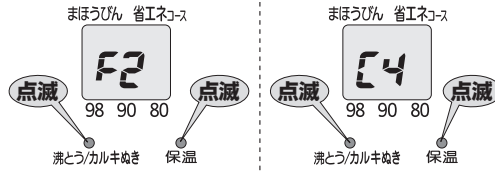
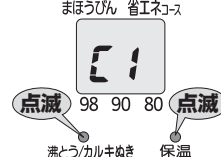
❶メッシュフィルターを内容器からはずす。
❷クエン酸　約30g（大さじ2～3杯）を、コップ1杯のお湯（約200mL）で溶かし、内容器の底の穴に入れてふたを閉め、そのまま約2時間放置する。
❸内容器の3分の1まで水を入れてふたを閉め、プラグを差し込んで沸とうさせる。（90保温を選択）
❹90保温の状態で、2～3時間放置する。
❺ 給湯 キーを押して、お湯（クエン酸の液）を全部注ぎ口から出す。
❻プラグをはずし、冷めてから内容器をスポンジで水洗いする。
❼クエン酸の残り水を取るため、水だけで通常通りにわかし、約半量を電動給湯してから、残りのお湯をすてる。
❽冷めてからメッシュフィルターを取りつける。

長期間ご使用にならないときは

❶ P.11の要領で各部のお手入れをし、乾いた布でふく。
❷各部を自然乾燥させる。（特に内容器は充分に乾燥させる。）
❸ポリ袋などで密封して保管する。

保管するときは、ポリ袋などで密封して虫やほこりなどが入らないようにする。

9 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください	参照ページ
お湯がわかない。（すべてのランプや表示部が消えた。）	プラグがはずれていませんか。	プラグを接続する。	6
水を入れても、湯わかしがはじまらない。（沸とう/カルキぬきランプに切り替わらない。）	約50℃以上のお湯を入れていませんか。	少しさめたお湯か水を入れる。	6
		再沸とう/タイマー キーを押して、沸とうさせる。	8
	まほうびん保温の設定（通電状態）にしていませんか。	再沸とう/タイマー キーを押して、沸とうさせる。	7・8
お湯が自然に出る。	水を「満水目盛」を超えて入れていませんか。	「満水目盛」以下にする。	6
湯わかし中に「ゴー」という音がする。	湯わかし中に発生する泡がはじける音で、故障ではありません。		5
	省エネコースを選んでいませんか。省エネ保温中にキー操作をすると、設定温度に戻すために自動的に湯わかしをします。そのときに発生する泡の音です。		9
湯わかし中の音がいつもより大きい。	内容器が汚れていませんか。	クエン酸洗浄する。	12
沸とうしない。（蒸気が出ない）	省エネコースを選んでいませんか。蒸気カットする省エネ湯わかしをしているため、約98℃で湯わかしを終了します。	「カルキぬき」でお湯をわかす。	6・8
	再沸とうにしていませんか。再沸とうは一度沸とうさせたお湯を湯わかしするため、蒸気をおさえた設定になっています。		―
お湯がにおう。	水道水に含まれる消毒用の塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。	「カルキぬき」でお湯をわかす。	6・8
	省エネコースを選んでいませんか。蒸気カットする省エネ湯わかしをしているため、約98℃で湯わかしを終了します。		
	使いはじめのうちは、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。		―
	樹脂製のお盆、ビニールシートなどの敷物の上で使っていませんか。お湯に敷物のにおいが移ることがあります。		
本体外側が熱い。	室温の高い部屋で保温を続けると、本体外側が熱くなることがあります。異常ではありません。		―
内容器が汚れている。お湯に白い浮遊物が浮く。	水に含まれるミネラル成分の作用によるもので、内容器自体の変色や腐食、フッ素樹脂のはがれではありません。	クエン酸洗浄する。	12
お湯がぬるい。	省エネコースを選んでいませんか。省エネ保温中は設定温度より約5℃下げて保温します。	省エネコース/保温選択 キーまたは ロック解除 キーを押すと、約1分でもとの設定温度に戻ります。	9
	まほうびん保温の設定にしていませんか。時間の経過とともに、湯温が徐々に下がります。	他の保温を選ぶ。または、再沸とう/タイマー キーを押して沸とうさせる。	7・8
	湯量が少ない状態で、「まほうびん保温」をすると、さめやすくなります。		7
	1杯目のお湯は水量表示計の水量管の中にたまっているお湯が給湯されるため、ぬるくなることがあります。		―
お湯が出ない、出にくい。	本体を傾けた状態で給湯していませんか。	本体をまっすぐにする。	―
	プラグがはずれていませんか。	プラグを接続する。	6
	自動ロックになっていませんか。	ロック解除 キーを1回押してから給湯する。	8
	沸とう直後ではありませんか。	蒸気に注意して、一度ふたをあける。	

9 故障かな？と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください	参照ページ
お湯が出ない、出にくい。	内容器やメッシュフィルター、内部のポンプが汚れていませんか。	クエン酸洗浄する。	12
蒸気が出終わっても、沸とう/カルキぬきランプが点灯している。	沸とう直後に給湯しますと、発生した泡がポンプに入ってお湯が出にくくなったり、お湯が飛び散ることがあります。これを防ぐために蒸気が出終わっても、沸とう/カルキぬきランプが約3分間点灯しています。		—
表示部がくもる。	水のかかりやすい場所や、底部がぬれるような所に置きませんでしたか。	水をすて、通電せずにくもりがなくなるまで放置する。	—
	本体をさかさにして置きませんでしたか。		
	給水するときに、操作パネルに水をかけませんでしたか。		

こんな表示が出たときは

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください	参照ページ
沸とう/カルキぬきランプと保温ランプが交互に点滅して、下図のように表示される。 まほうびん 省エネコース F2 点滅 98 90 80 点滅 沸とう/カルキぬき 保温 まほうびん 省エネコース C4 点滅 98 90 80 点滅 沸とう/カルキぬき 保温	カラまたはごく少量の水量で湯わかししていませんか。	プラグを抜き、水を水量表示計の「給水マーク」以上まで入れて、しばらくしてからプラグを差し込む。	6
	お湯を使いきったまま長時間放置したり、給水するためにふたを開けたままで放置していませんか。		
	水をつぎたしたときに、勢いよく入れませんでしたか。	プラグを抜き、しばらくしてからプラグを差し込む。	
沸とう/カルキぬきランプと保温ランプが交互に点滅して、右図（C1・C5・C6・C7・C8）のように表示される。 まほうびん 省エネコース C1 点滅 98 90 80 点滅 沸とう/カルキぬき 保温	—	給水やお手入れをするときに、本体内部に水が入って故障している場合があります。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。	—

仕様

		2.2タイプ	3.0タイプ
サイズ		2.2タイプ	3.0タイプ
定格容量		2.15 L	2.91 L
電源		交流100 V 50-60 H z	
湯わかし時の消費電力		700W	
年間消費電力量*1		271 k W h / 年	304 k W h / 年
1日当たりの消費電力量*1		0.75 k W h / 日	0.84 k W h / 日
外形寸法*2（とっ手を倒した状態）	幅	21.4 c m	
	奥行	28.6 c m	
	高さ	25.5 c m	29.5 c m
質量*2（電源コードを含む）		2.4㎏	2.6㎏
温度過昇防止装置（温度ヒューズ）		152℃	
コードの長さ*2		1.0 m	
電動ポンプの消費電力*2		1.5 W	

＊1 JEMA（日本電機工業会）自主基準による測定（室温23℃、湯わかし2回／1日、再沸とう1回／1日、保温90℃で23時間／1日、365日／年間、その他水量等の試験条件：JEMA自主基準HD-112に基づく）

＊2 おおよその数値です。

※特定地域（高地・厳寒地など）においては、所定の性能が確保できないことがあります。

消耗品・別売品のお買い求めについて

ふたパッキンおよびその他のパッキン類は消耗品です。水質や使いかたにより異なりますが、ご使用にともない傷んできます。1年を目安に確認し、白く変色したり、汚れや破損がひどくなったり、ふたのすき間から蒸気がもれだしたら、新しいふたパッキンと交換（有償）してください。

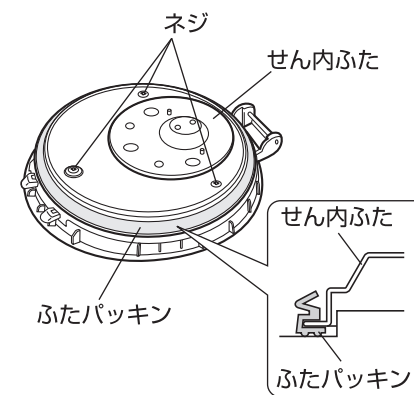
ふたパッキンのはずしかた

❶3本のネジをゆるめる。

ご注意 ネジはゆるめるだけでせん内ふたをふたからはずさない。完全にはずすとその他の部品がはずれるなどして蒸気もれやお湯が出ない原因。はずれてしまったときは、[図-A] のように正しく取りつける。

❷ふたパッキンをはずす。

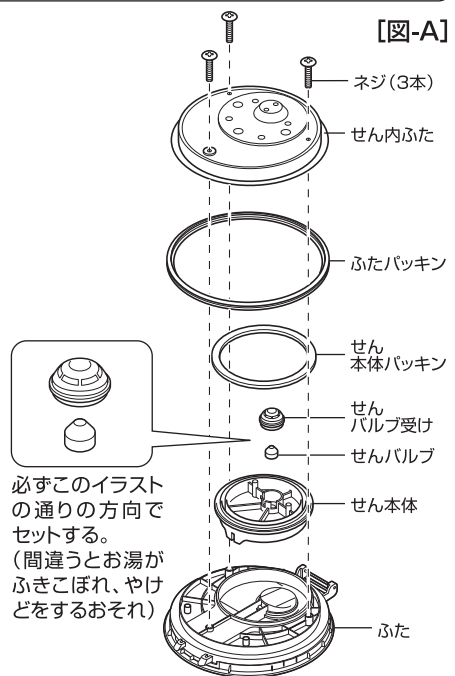
ふたパッキンのつけかた

❶せん内ふた外周に、ふたパッキンを図の通りにきっちりと均等にはめ込む。
❷最後にネジを確実に締めつける。

ふたパッキンは、お求めのタイガー製品販売店またはタイガーお客様ご相談窓口、消耗品・別売品のご購入専用ホームページ（連絡先→下記参照）で、部品番号：PDA1090とご指定の上、お買い求めください。
※ふたパッキンを交換しても不具合のときは、その他のパッキン類、成形品などが傷んでいる場合がありますので、お問い合せの上、ご相談ください。

樹脂部品について
熱や蒸気にふれる樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、またはお買い上げの販売店にご相談ください。

メッシュフィルター

内容器のクエン酸洗浄時に取りつけて洗浄しても汚れが取れない場合は交換してください。交換用のメッシュフィルターは、お求めのタイガー製品販売店またはタイガーお客様ご相談窓口、消耗品・別売品のご購入専用ホームページ（連絡先→下記参照）で「タイガー電気ポット用交換用メッシュフィルター」部品番号：PVH1045とご指定の上、お買い求めください。

[図-A]

連絡先

タイガー魔法瓶株式会社 本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町３番１号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル（全国共通番号） 市内通話料でOK **0570-011101** 市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間 AM9:00～PM5:00 月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除きます）
※携帯電話・PHSとIP電話等（ナビダイヤルを利用できない電話）の方はこちらへ TEL（06）6906-2121

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス http://www.tiger.jp/

消耗品・別売品のご購入ホームページ http://www.tiger.jp/shop.html